

# 小川遺跡



<http://digitalarchiveproject.jp/information/小川遺跡>



小川遺跡は、日本海に面する白山市小川町に位置する。ここには、16世紀まで津(港)があり、北陸道と日本海の船舶を結んでいた。ここは、かつて手取川の本流が通っており、渡河する基点であったことから、白山信仰の重要な場所とされ、小白山社がおかれていた。現在は、手取川の本流は西側に移動し水田地帯となっている。中世にこの場所を通過した遊行上人の聖絵(京都市本光寺)には、渡河する遊行上人と念仏行者一向が川の対岸左右でにらみあっている中で描かれている(源氏と平氏)。その背後に、白山の方から一向を見守る毘沙門天が描かれている。長寛元年に記された「白山之記」には、ここにあった諸堂が詳細に記されている。平成2年と平成26年から27年に開発事業によって緊急発掘調査が行われ、12世紀から16世紀に営まれた津集落と見られる区画跡や石組井戸跡が発見された。特に井戸跡は約300基発見さて、ここに津を主体とする集落があったことが確認されている。

## ■特色

古代の都市、交通史を示す上で重要な遺跡と言え、保護措置が求めされる。



001\_小川新井戸跡



002\_小川新石考硏説明会H281127000



003\_小川新石考硏説明会H281127001



004\_小川新石考硏説明会H281127002



005\_小川新石考硏説明会H281127003



006\_小川新石考硏説明会H281127004



007\_小川新石考硏説明会H281127005



008\_小川新石考硏説明会H281127006



009\_小川新石考硏説明会H281127007



010\_小川遺跡 2013年2月000



011\_小川遺跡 2013年2月001



012\_小川遺跡 2013年2月002



013\_小川遺跡 2013年2月003



014\_小川遺跡 2013年2月004



015\_小川遺跡 2013年2月005



016\_小川遺跡 2013年2月006



017\_小川遺跡 2013年2月007



018\_小川遺跡 2013年2月008



019\_小川遺跡 2013年2月009



020\_小川遺跡 2013年2月010



021\_小川遺跡 2013年2月011



022\_小川遺跡 2013年2月012



023\_小川遺跡 2013年2月013



024\_小川遺跡 20150407000



025\_小川遺跡 20150407001



026\_小川遺跡 20150407002



027\_小川遺跡 20150407003



028\_小川遺跡 20150407004



029\_小川遺跡 20150407005



030\_小川遺跡 2019年12月000



031\_小川遺跡 2019年12月001



032\_小川遺跡 2019年12月002



033\_小川遺跡 2019年12月003



034\_小川遺跡 2019年12月004



035\_小川遺跡 2019年12月005



036\_小川遺跡 2019年12月006



037\_小川遺跡 2019年12月007



038\_小川遺跡 2019年12月008



039\_小川遺跡 2019年12月009



040\_小川遺跡 2019年12月010



041\_小川遺跡 2019年12月011



042\_小川遺跡 2019年12月012



043\_小川遺跡 2019年12月013



044\_小川遺跡 2019年12月014